《別添》

令和7年6月28日
第2回防災活動意見交換会

防犯防災部長あいさつ

梅雨のうっとうしい季節の中、また土曜日の貴重なお時間に本会議に参加をいただき、誠にありがとうございます。

中東情勢の不安定化が一層進み始め、イスラエルとイランの対立激化に米国政府が関与し始めたことで、ロシアのウクライナ進攻、更に中国政府による東シナ海不法占拠、更に台湾情勢にも大きな動きが出てきても不思議ではない、誠に不安定な国際情勢となっています。

近くに目を転じますと、お隣の松戸市でも家族内での殺人事件(弟が姉を刺殺)が先週発覚、また、ここ数か月の間で松戸市では不審者の出現も警察メールマガジン通報で判明しています(うち1件は嫌疑者逮捕の一報が松戸署からありました)。

世界の自然災害では、インドネシアやフィリピンでの大規模噴火が昨年末以降で発生、国内では九州での噴火騒ぎは一段落していますが、一方で、富士山噴火を想定した専門家による検証、協議が、改めて今春以降に動き始めています。富士山噴火での降灰は、首都圏直下地震より、想定される被災や影響ははるかに甚大とされ、私たちも飢えや物資不足の苦しみが避けられなくなるともいわれていますので、大規模地震災害以上に、備えと安全な場所への避難を普段から想定すること、そのための訓練を実施することが非常に重要である。それをこの地域にお住いの住民がもれなく理解すること、知らない住民(関心の低い住民)をそのままにしておかないことが肝要と考えます。

本日から、この秋に向けた具体的な訓練内容の検討が始まりますので、何卒よろしく申し上げます。

風早北部地域ふるさと協議会
防犯防災部長 古山博之